

授業 コード	11114	科目名	社会的企業論		担当者		八木 寛之		
		副題		開講期	前期	単位数	2	DP対応	S2,S3
【授業概要】									
さまざまな社会問題や地域問題を解決するために、NPO・NGOや社会的企業といった組織による活動が注目されている。この授業では、社会的企業やNPO・NGOの社会的意義について、おもに社会学的な観点から受講者とともに考えていく。									
【到達目標】									
1. 社会問題に取り組むための組織のあり方について説明できる。 2. 社会的企業やNPO・NGOの多様な取り組みを知り、説明できる。 3. 社会問題の解決のための社会的企業・NPOの企画立案ができる。									
【授業方法・計画】									
授業の前半回では、担当者作成のレジュメに沿った講義を中心に進める。映像等を使用することもある。また、後半回ではグループワークをおこなう。									
第1回	イントロダクション / 社会的企業とは何か								
第2回	社会問題と慈善活動：ボランティアは「偽善」？								
第3回	「つくられる」社会問題：クレーム申し立て活動								
第4回	組織の社会学：官僚制組織と逆機能								
第5回	資源の配分をめぐる：市場の失敗、政府の失敗								
第6回	社会的企業の事業と収益								
第7回	社会的企業の事例：多文化共生のまちづくり								
第8回	社会的企業の事例：簡易宿泊所街と「ホームレス」問題								
第9回	社会的企業の企画立案：解決すべき社会問題の提示								
第10回	社会的企業の企画立案：社会問題を解決するためのしくみを考える								
第11回	社会的企業の企画立案：組織をつくる、仲間を集める								
第12回	社会的企業の企画立案：持続可能なしくみを考える								
第13回	社会的企業の企画立案：発表会								
第14回	社会的企業の企画立案：まとめ								
【準備学習・復習】									
準備学習：授業内容に関連したニュース（新聞・Web記事など）、とくに社会問題に関心を持ち、調べること（100分） 復習：授業内にて配付したプリントや資料をよく読むこと（100分）									
【課題に対するフィードバックの方法】									
レポート課題と発表内容について、授業内にて適宜コメントをするなどしてフィードバックをおこないます。									
【受講上のアドバイスおよび注意事項】									
授業の後半はグループワークをおこなう予定です。									
成績評価方法	レポート課題（30%） グループワークでの受講態度および課題発表の内容を総合的に評価（70%）								
教科書	なし								
参考書	川村暁雄ほか編著『これからの社会的企業に求められるのは何か』、2015年、ミネルヴァ書房 澤村明ほか著『はじめてのNPO論』2017年、有斐閣								
SS2302	授業に関連する実務経験			なし					